

1. 令和4年（2022年）1月18日 午前10時
豊中市教育委員会会議を豊中市役所（第二庁舎 大会議室）に招集する。

2. 本日の出席委員等

教 育 長	岩 元	義 継
教育長職務代理者	山 野	佳世子
委 員	森	由 香
委 員	赤 尾	勝 己
委 員	松 本	裕 美
委 員	堀 田	博 史

3. 本日の議事日程

第1	議事録署名委員の指名について
第2	前回議事録の承認について
第3	教育長等の報告について
第4	その他

4. 本日の出席事務局職員

事務局 長	小野 雄 慈
教育 監	道上 博 行
理事 事	中尾 栄 一
次 長	正岡 由 佳
参事兼豊中市教育センター所長	堤 昌 子
教育総務課 長	森田 宏 人
教育総務課 主幹	大野 章
学校施設管理課 長	蓮池 勝
社会教育課 長	大澤 亮 太
社会教育課 主幹	清水 篤
教職員課 長	森山 幸 雄
教職員課 主幹	湯浅 安 由 里
学校教育課 長	田中 克 嘉
学校教育課 主幹	藤崎 直 紀
児童生徒課 長	杉山 眞 紀
豊中市教育センター主幹	森 眞 理 子
学び育ち支援課 長	岡本 淳 子
次長兼中央公民館館長	弘中 伸 明

5. 本日の書記

教育総務課総務係 長	具志堅 興 紀
教育総務課 主事	藤田 将 輝

— 議 事 —

岩元教育長

ただいまから教育委員会会議を開催します。

まず、本日の教育委員会会議の進行について教育委員の皆様にお諮りします。新型コロナウイルスの感染予防による会議時間の短縮を図るため、本日の会議の進行については、議事日程の朗読や議案等の朗読は省略したいと思いますがお異議ございませんでしょうか。

(異議なしの声あり)

岩元教育長

それでは本日の会議の進行は、議事日程の朗読や議案等の朗読は省略させていただきます。本日の会議の成立要件をご報告ください。

具志堅書記

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第3項の規定により、教育長及び在任委員の過半数が出席されていますので、本日の会議は有効に成立していることを報告いたします。

岩元教育長

本日の議事日程については、議案書の1頁に記載のとおりです。

岩元教育長

それでは、議案書等を閲覧用として傍聴人に配布して下さい。

岩元教育長

日程第1・議事録署名委員の指名につきましては、今回は赤尾委員と松本委員にお願いいたします。

日程第2・前回議事録の承認につきましては、既に会議録を委員の皆様方に配布しております。また、署名委員のご署名をいただいておりますので、原案のとおり承認することにご異議ございませんか。

(異議なしの声あり)

岩元教育長

ご異議がございませんので、前回議事録の承認につきましては原案のとおり承認することにいたします。

続きまして日程第3・「教育長等の報告について」を議題といたします。事務局より報告させます。

小野事務局長

私から2点、報告いたします。

先ずは新型コロナウイルス感染症についてです。1月7日に開催された、大阪府の本部会議では、府立学校における教育活動について特に示されておられません、第6波の新規陽性者の感染経路は、第5波と比べ学校関連の割合が高くなっていることが報告されており、市内の小中学校において、感染症対策の徹底を実施し、現在通常の学校運営を行っております。

1月16日現在、本市の累計感染者数は8,349人で、学校関係者の状況は、先月の教育委員会会議以降、昨日まで、のべ、小学校24校、中学校8校で合計61人の陽性者が確認され、オミクロン株の影響もあり、今年に入ってから急増しております。なお、学校内での感染拡大の恐れがないことから臨時休業は行っておりませんが、先ほど連絡が入り、小学校1校にて集団PCR検査を実施することとなりました。そのため1月18日から21日の3日間について学級閉鎖を実施いたします。

2点目は、豊中市教育美術展についてです。令和3年12月3日(金)から7日(火)に豊中市立文化芸術センター展示室にて開催いたしました「豊中市教育美術展」について報告いたします。

本美術展は、市内全17中学校の生徒が、日頃の美術学習や部活動の成果を発表する場として開催しております。昨年度は新型コロナウイルス感染拡大のため、開催を見合わせましたが、今年度は感染対策を徹底した上で、開催をすることができました。絵画や立体作品など、美術の授業や部活動において生徒が制作した約2,000点の多彩な力作が展示された会場には、一昨年度より697人多い計2,060人の来場者がございました。

来場者アンケートには「子どもたちが一生懸命に作品作りに励んでいる姿が想像できました。」「どの作品も心が込められた様子が感じられ、見学している人たち

を感動させてくれました。久しぶりに感動の時間を過ごせました。」等の声が多数寄せられました。

岩元教育長

続きまして私から、1月10日（月）に実施しました「令和4年（2022年）成人式」についてご報告いたします。

今回も昨年に引き続き、市立各中学校の体育館と文化芸術センターの計18カ所で分散開催し、文化芸術センターの式典映像を各会場へライブ配信いたしました。また、参加できない新成人や保護者が自宅で視聴が出来るよう、インターネットによる同時配信も行いました。

今年の新成人は3,897人で、当日は約2,700人が各会場の式典に参加され、リアルタイムで配信したYouTubeには、684件のアクセスがありました。

式典では、日本センチュリー交響楽団のウェルカム演奏、国歌・市歌演奏があり、豊中にゆかりのある方から、お祝いのメッセージが寄せられました。また、新成人の代表からは、成人を迎えることができたことへの感謝の気持ちと、今後の決意が述べられました。

各会場には、当時の担任の先生をはじめとした多くの方から祝福のメッセージや、撮影スポットとしての屏風を設置し、そこで多くの新成人が写真を撮影する姿が見られました。市長部局からも多くの職員の応援をいただき、各会場とも円滑に進行することができました。

岩元教育長

ただいまの報告について何かご質問、ご意見等ございますでしょうか。

森委員

豊中市教育美術展について、子どもの作品が展示されたため参加させていただきましたが、展覧会を行うための作品ではなく授業の取組みとしての作品ということで、寄せられたアンケートと同じく、子ども達が楽しく作品を作られている様子が想像できる楽しいイベントであると感じました。また、各校の美術の先生が作品の表現方法について様々な工夫を凝らしておられる様子も伝わり、勉強になりました。開催期間が短く感じるほど今後も参加したいイベントであると思いました。

岩元教育長

他に何かご質問等はございますでしょうか。

(ありませんの声あり)

岩元教育長

それではご質問等がないようですので教育長等の報告についてを終了することといたします。

続きまして、日程第4・「その他」といたしまして、「令和4年度小学校高学年教科担任制の実施について」を、事務局より報告のうえ、意見交換を行います。

それでは、内容の説明をお願いいたします。

田中課長

学校教育課より小学校高学年教科担任制について、配布資料の内、主に最後のとりまとめ資料を基にご報告をさせていただきます。

国の動向では、外国語、理科、算数又は体育を優先して小学校5・6年生について小学校高学年教科担任制を進めていくことが示されていますが、詳細な内容については通知等が発出されていない状況にあります。一方で、当市の次年度に向けた人事作業が開始されることから、1月6日の校長会にて、本資料を基に各学校長に対して説明・周知を図りました。

まず、小学校高学年教科担任制実施の目的ですが、「授業の質の向上」、「小中学校間の円滑な接続」と併せて、とりまとめ資料からは割愛させていただいておりますが「複数の教員が携わることによる多面的な児童理解を通じた児童の心の安定」、「教員の負担軽減」が挙げられます。それらの目的を果たすため、市立小学校5・6年生の全学級について外国語、理科、算数、体育の授業のいずれかの教科にて小学校高学年教科担任制を実施してまいります。

今年度までも希望校では小学校高学年教科担任制事業は実施しております。実施にあたっては原則非常勤講師の配置による6年生を対象としたものとなり、今年度は21校で実施しております。これらで実施されている教科の例は来年度からの4教科以外にも社会や図工、家庭科の授業も挙げられます。また、実施にあたっては非常勤講師の配置以外にも担任教員間の交換授業等により、各校が自主的に実質的な小学校高学年教科担任制として対応している事例もあります。

来年度につきましては、小学校5・6年生の全学級で外国語、理科、算数、体育

のいずれかで小学校高学年教科担任制を実施するにあたり、大規模校では新たに任期付常勤講師の配置により、それ以外の小規模校では現状の非常勤講師や専科教員・加配教員を活用することにより、交換授業も含めて全校での対応を行います。なお、非常勤講師につきましては4教科いずれかを担当することとなりますが、任期付常勤講師につきましては、常勤のため校務を割り当てることが可能であること、併せて4教科の年間時数に大きく差異があることから、各校の状況によっては、任期付常勤講師が必ずしも教科担任を行うのではなく、例えば通常の担任を務め、担任から外れた教員が代わりに教科担任を行う等の柔軟な対応も想定されます。更に、各校のおかれる状況から高学年教科担任制に対する取組み内容は異なり、例えば現状で既に小学校高学年教科担任制を実施している学校では2教科目の実施に努めること等も考えられます。

国からの詳細な通知がない状況で、概括的な内容となりますが報告は以上となります。

岩元教育長

ただいまの説明についてご質問、ご意見等ございますでしょうか。

松本委員

目指す方向性につきまして、4教科については中学校のように教科担任の教員だけが指導されるのか、或いは担任とミックスして対応されるのか、現時点のお考えをお教えてください。

田中課長

教科担任制の原則論の大きな流れとしましては中学校のイメージで、例えば算数で教科担任制を実施するのであれば算数の授業は全て教科担任の先生が行うものと考えます。但し、英語の授業でよくみられるチームティーチングのようなT1・T2の体制を不可とすることは考えておりません。

松本委員

教科担任制を実施する授業については原則1人の先生が全て対応され、併せて担任の先生も別でおられるため、それぞれが連携して児童を多面的にみていくといったイメージでしょうか。

田中課長

要綱に記載しておりますが、小学校高学年教科担任制実施の目的に「多面的な児童理解を通じた児童の心の安定」がございます。実際、既に高学年教科担任制を実施している学校からは同制度の導入により、児童に何か課題が発生した際に、これまで担任と管理職の教員だけで対応していたところに、教科担任が加わることで複数の目で確認できること、更に教科担任は複数のクラスを対応することからクラス間の違いも認識することが可能になるといった報告を受けております。

赤尾委員

小学校高学年教科担任制を担当する教員の教員免許証について、小学校の免許証と該当する4教科に関する中学校の免許証がそれぞれ必要となるのでしょうか。

田中課長

小学校免許を持つ教員は全ての教科について教科担任制の対応が可能です。一方、中学校免許のみを持つ教員は、所有する免許が数学であれば算数の授業は対応が可能といったように、それぞれの免許の内容に応じて対応が可能となります。

堀田委員

非常勤講師の配置にあたり、各校を持ち回りで対応するような場合も想定されるのでしょうか。その場合、担当の教員が不在時に児童が質問・相談できないといった状況が発生してしまい、教員側の働き方改革が実現されたとしても児童にとっては元の担任制の方がよかったという状況に陥ることが危惧されます。

田中課長

中規模以上の学校には任期付常勤講師を配置し、それ以外の学校に非常勤講師の配置を予定しており、基本的には1校専属として想定しております。

森委員

事前に資料を拝見した印象では最大で4教科、4人の講師が配置されるといった印象を受けましたが、任期付常勤講師又は非常勤講師を各校に1名配置することで、1つの学校で2教科以上の教科担任制を希望することはできないということでしょうか。

田中課長

実施に向けた計画書を各校に依頼しているところですが、基本的には4つの中から1つの教科を選択していただいているところです。まずは、複数ではなく1つの教科での実施を考えております。但し、既に交換授業等により教科担任制を実質的に実施している学校において、複数の授業での実施が可能となるような計画を挙げられ、かつ、対応される先生が複数教科でも問題ないとされるような場合には個別に検討を行います。

森委員

講師の配置はあくまでも1名に留まり、導入科目数は運用によってある程度柔軟に対応する可能性があるということでしょうか。

田中課長

その通りです。

山野委員

現在、既に校内で人的な配置を検討され交換授業等により導入されている学校もあれば、未着手の状況の学校もあると思われませんが、来年度からの導入においては、子ども達にとって一番良い方法となるよう、学校内でしっかり運用を考えていただきたいと思います。教科担任制の導入により、教材研究を深めること等で授業の専門性が高められることが想定され、特に理科の授業では実験の準備等も必要となることから、導入の効果は高いものと考えられます。

一方で先日、教科担任制を既に導入している学校を訪問した際に、これまで小学校では担任1人で全ての授業を担当していることから、他者による授業について、児童達がどのように参加しているのか等が気になるといった担任のご意見がありました。制度の導入については教員それぞれの捉え方があるものと思われまます。そのため、学校としてどのような方向性をもって教科担任制を実施していくのかを明確にし、全ての教員が同じ目的意識のもとで取り組まないと足並みが揃わないのではないかと思います。教科担任制の導入についてはまずは第一歩の状況となるため、様々な角度から今後検証を進めていただき、子ども達にとっても教員にとってもいい事業になることを願っています。

赤尾委員

4つの教科の内、どの教科で最も多く教科担任制が導入されると想定されていますでしょうか。

田中課長

現時点で相談を受けている中での印象では、体育は少なくなる見込みです。また、算数での導入を希望していても実際に導入するには時数が最も多いことから時間割の組み方が大変といった意見もお聞きします。そのため、外国語又は理科のいずれかが多くなるのではないかと考えます。しかしながら、交換授業により教科担任制を導入する場合等は時間割の組換えが非常に複雑となることから、各校かなり悩んでおられる状況にあり、実際にどうなるかは不透明なところがあります。

赤尾委員

現時点では4教科での実施を示されていますが、将来的にはそれ以外の教科にも導入を広げていくことは検討されているのでしょうか。

田中課長

国からはまずはこれらの4教科を優先的に行うものとして示されています。但し、これら全てにおいて導入するには現状の教員の定数では圧倒的に不足している状況にあります。その状況が解消され、4教科全てにおいて導入可能となる状況になれば、他の科目にも波及していくのではないかと考えますが、まずは国の動向を注視して取り組んでまいりたいと思います。

岩元教育長

他に何かご質問等ございませんでしょうか。

(ありませんの声あり)

岩元教育長

次年度からは新たに全校で実施していく事業ということで、学校と教育委員会がしっかり連携しなければ円滑に進まないと思いますので、事務局の方でも丁寧な対応をお願いしたいと思います。

それでは、日程第4・「その他」についてを終了することにいたします。

以上で本日の議事日程は全て終了いたしました。これをもちまして教育委員会
会議を閉会いたします。